

第 7 回地区庶務担当理事連絡協議会

と き 平成 22 年 11 月 24 日（水）午後 2 時 30 分～

△森会長挨拶

森府医会長は、冒頭、インフルエンザの発生が徐々に増えてきたことを報告。ワクチンの供給等に関して、「昨年のような混乱はないだろう」との見通しを示すとともに、「不都合等があれば京都府・京都市とワクチン等確保検討会で協議したい」として会員からの意見を求めた。

中央情勢については、民主党政権の支持率が低下する中、予算審議も予断を許さない状況であるとし、日本経済への影響に危惧を示した。さらに、そのような状況下では財源確保が困難であるとし、次期の医療・介護同時改定にも、多くは望めないだろうとの見通しを示す一方で、「国民が安心して暮らせる社会保障を確保するためには財源確保が必要である」と強調した。

続いて、11 月 3 日に行われた竣工記念式典で、全国の都道府県医師会、十四大都市医師会から多数の出席があり、凛々しく開催出来たことを報告。これまでの会員の協力に感謝の意を述べた。また、先日行われた四師会懇談会でも、各団体から 4 月に運用開始を予定している京都府医療トレーニングセンターへの期待と利用の要望があったとし、地区医師会でも在宅医療推進に取り組む際等に活用いただきたいとした上で、新会館を拠点として京都の地域医療のあり方を発信していきたいと意気込みを示した。

最後に、2015 年に日本医学会総会が京都で開催されることを報告し、それに向けて、来年 4 月に東京で開催される医学会総会に積極的に参加いただきたいと地区での呼びかけを依頼した。

△報告ならびに協議事項

1. 最近の中央情勢について（坂東理事）

10 月下旬から 11 月中旬にかけて、高齢者医療制度を中心に社会・医療保険状況について説明した。

2. 麻薬免許の交付について（三木理事）

10 月に申請書を提出された本年の更新対象者の麻薬免許証交付における交付日程や必要書類等を説明（京都医報 11 月 15 日号「保険だより」参照）。また、未だ更新手続きをされていない方が 60 名余りおられるとし、至急、京都府庁薬務課または所轄保健所へ麻薬免許申請書を提出されるよう促した。加えて、免許が失効した際に麻薬の在庫がある場合は不法所持扱いとなると強調し、注意を喚起した。

3. 学術講演会の今後の予定について（小野理事）

12 月・1 月に予定している京都府医師会学術講演会を紹介し、積極的な参加を呼びかけた。